

| | | | | | |
|------|-------|-----------|------------|--------|-----|
| 講義名 | 西洋史 | | | 授業形態 | |
| 担当教員 | 白幡 俊輔 | 開講期・曜日・時限 | 後期 火曜日 2時限 | | |
| | | 単位数 | 2 | 履修開始年次 | 2年生 |

主題と概要

古代から現代までの西洋世界の歴史を中心に、その周辺地域（ロシア・中東・北アフリカ・南北アメリカ）の歴史について基本的な知識を習得する。西洋の政治や社会の変化を中心に、経済や文化についても講義する。同時に、過去のヨーロッパの人々が歴史をどのように捉え、歴史にどのような意味付けをしていたのか、歴史はどのように叙述されてきたのか、といった「歴史叙述、歴史認識の歴史」についても講義する。

到達目標

1. 西洋史の基本的な流れを理解する。
2. 西欧世界と関連する諸外国の歴史について理解する。
3. 古代から現代までの「歴史叙述」および「歴史学」の方法を理解する。

提出課題

毎回「質問・感想票」を配布するので、必ず記入して提出すること。また同用紙を用いて簡単な課題（クイズ形式）を課すこともあるので、授業時間中に記入して提出すること。

課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバックの方法

「質問・感想票」に記された疑問や質問などについては、時間の許す限り、次の授業で全て回答する。

評価の基準

平常点と、期末試験の得点で総合的に判定する。点数配分は平常点：15%（主に質問票への記入や出席状況）、定期試験：85%とする。（無断欠席については減点の対象となるので注意すること）

履修にあたっての注意・助言他

ヨーロッパ史の一般的な流れについては授業中に適宜説明するので、高校で「世界史」等を取っていない学生でも気後れすることなく受講して欲しい。ヨーロッパの歴史や文化に興味がある学生の受講を歓迎する。（もし高校時代の世界史教科書や年表などを持っていれば、用意しておくとうい）

教科書

| | | | | |
|--------|------|-----------------------|------|------------|
| 西洋史への扉 | 白幡俊輔 | 京都芸術大学 東北芸術工科大学 出版局 監 | 1100 | 4909439358 |
|--------|------|-----------------------|------|------------|

参考図書

.なし.

その他

各授業ごとにプリントを配布する。また、参考となるような図書については授業中に適時教えるので、興味があれば読んでほしい。

授業計画

1. ガイダンス・「歴史学」とは何か
2. 古代ギリシャ・ローマの文明
3. 古代における歴史叙述
4. ローマ帝国の滅亡とフランク王国の誕生
5. 中世都市の発展と十字軍運動
6. ルネサンスから宗教改革へ
7. 中世キリスト教文化における歴史叙述
8. 大航海時代による「世界史」のはじまり
9. 絶対主義国家の時代
10. フランス革命と国民国家の成立
11. 近代歴史学の誕生と役割
12. 産業革命から第一次大戦へ
13. 第二次大戦とアジア・アメリカの発展
14. グローバル化と現代歴史学の観点
15. まとめ

授業形態（アクティブ・ラーニング）

| | |
|--------------------------------------|--|
| ア：PBL（課題解決型学習） | イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態） |
| ウ：ディスカッション、ディベート | エ：グループワーク |
| オ：プレゼンテーション | カ：実習、フィールドワーク |
| キ：その他（A-L型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合） | |

準備学修（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間

予習
第3回、第7回、第11回、第14回：一つ前の講義で指定された、教科書の該当箇所を読んでおくこと（60分）
その他の回：一つ前の講義で指定された用語について辞書やネットなどで調べておく。同様に、指定された参考文献があれば、読んでおくか、その内容について図書館、ネットなどで調べておく。（60-90分）
復習
全講義共通：配布されたプリントの見直し、記入漏れが無いがチェックする。その際、質問・疑問があれば次回授業で教員に尋ねられるようメモ等準備しておく（60分）

卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連

本授業は「西洋史の教養的知識の習得」と「歴史学の方法論を理解すること」を通じて、全学共通のディプロマ・ポリシーのうちとくに「情報収集能力、課題発見力、構想力の習得・向上を目指す」。

双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述

学生からの質問等に関しては常時受け付けているので、授業前、授業中、授業後のいつでも積極的に尋ねて欲しい。ICTの活用については特に予定していない。

実務経験の有無及び活用

備考

本授業の教科書については、大学の教科書販売では購入できないので、AmazonのKindle（電子書籍）版を各自購入すること。何らかの事情で電子書籍が利用できない学生はAmazonのオンデマンド印刷版でも構わない。